

# 桜甫会報

編集発行: 山口県立大学同窓会桜圃会  
 〈事務局〉〒753-8502 山口市桜島3-2-1  
 TEL&FAX083(925)7485 振替口座01570-2-25095  
 メールアドレス ouhokai@yamaguchi-pu.ac.jp  
 印刷: (株)マルニ

Vol.58

平成22年3月1日発行

特色GP 「重層的学生支援教育」による福祉人材養成



現代GP やまぐち多世代交流・地域共生授業の展開



現代GP 持続可能な社会に繋がる人的財産の育成



社会人GP 行動変容を促進する栄養指導法を身に付ける栄養士キャリアアップ支援プログラムの開発



学生支援GP 総合的人間関係力を涵養する学生支援



国際化加速GP 英語で世界に発信する地域遺産教育の開発

しかし、その後大学の総合的な整備充実計画が検討される中で記念建造物の建設は見送られることとなり、平成8年の学制改革による看護学部棟の建設時に新講堂として「桜圃会館」が建設され、募金の一部がこの施設の一部に充てられました。

また、平成13年(2001年)には桜の森事業がスタートし、桜圃会員も桜の森のオーナーとして参画することを通じ、桜の成長を見守りつつ、桜の森にキャンパスが移転する日を楽しみに

今から22年前の平成元年、当時の山口女子大学が開学50周年を迎えるに当たり、記念行事・記念誌の発行と大学の環境整備が企画されました。特に記念建造物(仮称桜圃会館)等の建設を目標の一つとして基金造成の募金活動が展開され、賛同された多くの会員の皆様方から暖かいご支援を賜りました。

しかし、その後大学の総合的な整備充実計画が検討される

中で記念建造物の建設は見送られることとなり、平成8年の学制改革による看護学部棟の建設時に新講堂として「桜圃会館」が建設され、募金の一部がこの施設の一部に充てられました。

一方、国道で分断されたキャンパスや老朽化、狭隘化した施設設備は在学生や教職員、さらに受験希望者にとっても、不備、不便の多い魅力的とはいいがたいキャンパスのようです。

私たちにとっては歴史と伝統のある懐かしい学び舎ではありますが、少子化が進む中にあって次代を担う人材を育て、地域に開かれた大学の理念にふさわしい教育環境・設備を備えたキャンパス整備が急がれます。

公立大学としての使命を持つ母校の今後の発展を願う時、卒業生として、その実現に向け支援することも桜圃会の役割のひとつではないかと痛感するこの頃です。

(昭和31年被服卒)

## キャンパス総合計画の実現をめざして

会長 吉村京







大谷るみ子氏により「いつだつて心は生きている」「一人ひとりに寄り添うケア」と題して、桜園会第30回記念公開講座が行われた。

毎日、グループホームで認知症の人と関わる中で、高齢者との関わりは特別な関わりでは無く、普通の関わりであり、その「関わりの質」が重要であるとの認識から、グループホームで出会った多くの高齢者との体験を交えての講演となつた。

認知症の人は、「わかる力」が不足している。ここがどこであるのか、

目の前の人と誰であるのか、これからどんな体験をするのか。現実

を判断し、未来を予測して行動

することが困難であり、何が起こ

るのかわからない「わからないだ

らけの中」で、じつとすること

が出来ず

に生活している。それを、問題

行動として捉えるの

## 「いつだつて心は生きている ～一人ひとりに寄り添うケア～」

「暮らし」「人生」と関わっていくことが必要であると、大牟田市での実践を含めて話され、講演を終えられた。  
(平成14年社会福祉卒 竹永記)

「暮らし」「人生」と関わっていくことが必要であると、大牟田市での実践を含めて話され、講演を終えられた。  
(平成14年社会福祉卒 竹永記)



山口県立大学客員教授特別講演会

平成21年12月4日(金)、グループホーム「ふみりえ」ホーム長の大谷るみ子氏により「いつだつて心は生きている」「一人ひとりに寄り添うケア」と題して、桜園会第30回記念公開講座が行われた。

毎日、グループホームで認知症の人と関わる中で、高齢者との関わりは特別な関わりでは無く、普通の関わりであり、その「関わりの質」が重要であるとの認識から、グループホームで出会った多くの高齢者との体験を交えての講演となつた。

認知症の人は、「わかる力」が不足している。ここがどこであるのか、目の前の人と誰であるのか、これからどんな体験をするのか。現実を判断し、未来を予測して行動することが困難であり、何が起こるのかわからない「わからないだらけの中」で、じつとすることが出来ず、過去を振り返ることが出来ず、未来を予測することが出来ない認知症の人にとっては、現実の今がすべてである。今を過ごしていくためにも、笑顔で「命」、

## 平成21年度 大学との 情報交換会報告

本年度の情報交換会は、2回開催された。1回目は5月23日(支部長、理事出席)、2回目は11月26日(理事出席)。

5月の会では、大学の近況報告として、GPA制度により学生を丁寧にアシストしていく学習支援・公務員講座開講など現れてくることもある。人生の物語のつなぎを支援させていただいていると感じます。

人にとつて幸せとは、愛する人や好きな人のために、自分が役割を務める時間があることである。職員の結婚式に参加す

る、地域の中でカレー店を開く等、様々な試みの中で、自らの思いを実現し、役割を持ち、地域との交流を図る等、活動を行っている。

(昭和49年保育卒 石崎記)

## 人事異動

### ■退職

足立 蓉子 大学院健康福祉学研究科教授  
マーシャ・ベリー ニ 大学院健康福祉学研究科教授  
樋原 朗 大学院健康福祉学研究科教授  
慎 変重 大学院健康福祉学研究科教授  
近藤 淳子 国際文化学部教授  
JATDIにゃんた 国際文化学部准教授  
高野 和良 社会福祉学部教授  
小野本ヒロコ 看護栄養学部特任教員  
伊原 靖二 生活科学部教授  
中川 洋子 共通教育機構教授  
松成 恵 共通教育機構准教授  
松本 耕二 共通教育機構講師  
永崎 研宣 情報化推進室准教授

### ■新任

永本 隆 社会福祉学部准教授  
林 亜由美 社会福祉学部助手  
後藤みゆき 看護栄養学部講師  
野坂久美子 看護栄養学部講師  
原田 良子 看護栄養学部助手  
内田 美保 看護研修センター専任教員  
吉岡 一志 プロジェクト支援室助教

### ■事務局職員転出

阿野 徹生 長門市副市長  
前田 安典 総合政策部秘書課  
磯部 功雄 水産研究センター  
藤井 健二 下関児童相談所  
秋山 裕子 教育庁教育政策課  
松若 政男 農林水産部農村整備課  
大塚 陽子 総務部学事文書課  
松浦 芳裕 美祢土木事務所

### ■事務局職員転入(・法人採用)

木村 泰則 経営企画室長  
・香川 正宏 経営企画室主任  
・柿 建次 経営企画室付け主査  
・佐々木雄士 経営企画室付け主査  
・山本 素子 経理グループ主任  
・岡田 武士 教務グループ主任  
・尾崎 康一 教務グループ主事  
・大沼 貞哉 教務グループ主事  
・松田 和也 学生支援グループ



## 平成21年度 桜圃会総会開催

第65回桜圃会総会が平成21年5月24日(日)ホテルニュータナカにおいて113名の出席を得て開催されました。

司会の杉村名奈美さん(看護平15)の開会の辞に統いて、吉村京会長より嬉しい知らせとして、「大学博士課程初の修了生」や「福田百合子名誉教授瑞宝中授章叙勲」などが紹介され、江里健輔名誉会長からは「大学のキャンパス移転に関しては、学内卒業生をはじめ、桜圃会との連携が必要不可欠であり、よりいつそう地域貢献につとめ県民の理解が必要」とのお言葉がありました。



■会費	(講演)	■場所	■日時
5,000円	「文化を創造する ものづくりの世界」	ホテルニュータナカ 山口市湯田温泉2-6-24 TEL 083(923)1313	平成22年5月23日(日) 午前10時～午後2時
当番幹事はS 卒業のクラス幹事さんです	(講師) 山口光先生		
59・H1.6.11.16.21年 39.44.49.54.			
5,000円			

\*出席希望の方は、5月12日(水)までに同窓会事務局までお知らせください。

### 平成20年度桜圃会会計収支決算書 H21.3.31(単位:円)

科	目	20年度決算額
収入		
継越金		5,469,283
経常会費		2,853,000
本部入会金		5,240,547
事業負担金		680,000
雑収入		31,710
合計		14,274,540

支会費	出
総会費	728,695
議費	377,185
支部援助費	1,064,600
会報作成費	1,239,273
公開講座費	84,150
桜圃会賞費	506,278
桜の森育成事業費	30,999
入会記念品費	283,200
旅費	1,243,225
通信費	211,010
印刷費	0
事務局運営費	2,326,830
退職給与引当金	130,000
情報管理費	78,716
備品費	244,571
消耗品費	194,922
雑費	54,455
特別会計に繰入	200,000
予備費	0
合計	8,998,109
次年度繰越金	5,276,431

### 平成22年度 桜圃会総会のご案内

(平成14年環境デザイン卒  
小橋記)

会食時のレクリエーションは、昨年桜圃会賞を受賞した、山口県立大学吹奏楽団BLAZEによる演奏でした。美空ひばりや、ピンクレディーなど懐かしの曲がメドレーで流れ、アンコール曲の「世界にひとつだけの花」は、毛利縫子さん(国文昭34)を皮切りに江里学長や福田先生が踊りを披露し、会場中の手拍子の中、とても楽しい一時を過ごしました。

狂言として「芸がこの山口市に現存していることは奇跡である」と熱く説明していました。更に、山口鷺流狂言保存会の米本太郎さんには、狂言の演目の一つである「鬼瓦」を実演していただき、ユーモア溢れる演技に

講演は、山口県立大学国際文

会場が笑いに包まれました。

### 事務局からのお願い

同窓会の運営は皆さんの会費で成り立っています。  
会費の納入にご協力下さい。

◆桜圃会本部経常会費納入(年間千円)をお願いいたします。  
\*65歳以上の会員で希望される方は終身会員になることができます。  
終身会費は一括払い一万円です。

◆振込用紙には会員番号(封筒の宛名シール右下)・卒業年・科・勤務先・送金明細・郵便番号・住所・氏名(ふりがな)を必ずお書き下さい。  
コンピューター処理を行いますので、郵便番号及び住所(番地、建物名、部屋番号)を正確にご記入下さい。  
\*住所、勤務先の変更、改姓の際もお知らせ下さい。

#### ◆ご連絡・ご質問の窓口

山口県立大学同窓会桜圃会事務局

住所 〒753-8502 山口市桜島3-2-1  
TEL&FAX 083(925)7485(職員在室日は水・金曜日 10時～17時)  
E-mail ouhokai@yamaguchi-pu.ac.jp  
山口県立大学のホームページからもアクセスできます。  
(http://www.yamaguchi-pu.ac.jp)

\*桜圃会では、個人情報保護法を遵守し、取り扱いについては慎重に対応してまいります。



第9回  
桜園会賞

桜園会功劳賞を  
受賞して

森重香代子

昭和30年当時、国文科には、教授として石川彌一、太田静一、上野さち子先生がおられ、講義はそれに実際にユニークでした。いま思うと幸運な二年間で、卒論に歌人の宮松二を選んだことが、その後の私の人生を決定づけ、半世紀を短歌と共に生きてゆくこととなりました。

日本の伝統詩である短歌は、テレビなどで多少の注目を浴びながらも裾野の広がりは見られておりません。若い人達に何とかこの美しい魅力ある詩型を伝えたくて、ささやかな歌誌「香蘭人」を発行

して参りました。若い人の県外流出は文芸の世界も同様ですが、それでも少しずつ新しい歌人は育っております。

この度、思いがけなく、短歌というまことに勢微な仕事に対し、桜園会功劳賞をたまわり恐縮に存じます。

今後も、いまの時代にこの小詩型で何を問い合わせるかを、仲間たちと考えながら歩みを続けてゆくつもりです。

最後になりましたが、山口県立大学、桜園会のご発展を祈念しつつ感謝の言葉といたします。

(昭和31年国文卒)

第9回  
桜園会賞

奨励賞を受賞して

よさこいサークル  
長野 洋子

この度、桜園会奨励賞をいたしました。よさこいサークル奄美連合萩組です。私たちの活動に期待を込め、このような賞を授与してくださいましたことを、心から嬉しく思います。奄美連合萩組は当時部員9名で、平成15年に創設されました。現在は部員30名ほどとなり、日々練習に励んでおります。



第9回  
桜園会賞

奨励賞を受賞して

エコアクション21学生委員会  
高橋 由佳

この度、桜園会奨励賞をいたしました。よさこいサークル奄美連合萩組です。私たちの活動に期待を込め、このような賞を授与してくださいましたことを、心から嬉しく思います。奄美連合萩組は当時部員9名で、平成15年に創設されました。現在は部員30名ほどとなり、日々練習に励んでおります。



(国際文化3年)

所定の様式に必要事項を記入のうえ、山口県立大学同窓会桜園会事務局に提出してください。

● 応募手続き・問い合わせ先

所定の様式に必要事項を記入のうえ、山口県立大学同窓会桜園会事務局に提出してください。

第九回桜園会賞  
受賞報告

して参りました。若い人の県外流出は文芸の世界も同様ですが、それでも少しずつ新しい歌人は育ております。

この度、思いがけなく、短歌というまことに勢微な仕事に対し、桜園会功劳賞をたまわり恐縮に存じます。

は、イベントの準備を行ったり、学内の環境を良くしていく方法を話し合つたりしています。

今年度は学園祭におけるゴミステーションの運営と、エコプロダクト2009への出展、他大学及び高校・地域との交流を予定しています。前期は野田学園高校で行われた環境フォーラムに参加し、本学の県大フェスタに出演しました。後期にも華月祭等のイベントがあるため、気を引き締めて頑張っていきます。

今年で4年目のエコアクション21学生委員会ですが、まだ学内においての認識度が低いと感じています。前年度、学内に向けた広報や情報提供が足りなかつたという指摘を受けたこともあり、今年度は掲示板やHP、学内のイベントを利用し、より学内外に開かれた委員会となるよう積極的に活動していくことを期待しています。

奨励賞は、

準会員(在学生)の活動を支え、右記①～④の活動が期待される人に授与されます。大学教員の推薦を受けて応募して下さい。なお、受賞者は選考委員会の審査を経て決定されます。

- ① 地域社会や文化の振興
- ② 生活文化の創造や普及
- ③ 文化的環境づくり
- ④ 地域社会や文化を担う人材育成

**桜園会賞応募要綱**

卒業後の会員の活動をたたえ、

は、イベントの準備を行つたり、

# 家具作りをはじめて

平川  
和明



家具屋(エルビーフアーチャーワーク)

5年目になります。山口市大殿大路に店舗、宮野下に工房を構え、オーダーメイドの家具を中心に制作しています。活動当初は未熟な部分もあり、お客様にご迷惑をおかけしたこともありました。現在は私たちには十分すぎるぐらいの工房と設備を整えることができ、日々制作に励んでいます。

た。その会期中には家具作りを  
教えて下さった木工所の方々や、  
今まで納品させていただいたお  
客様もご来場下さり、お祝いの  
言葉まで頂戴しました。あらた  
めて私はたくさんの方々に支え  
られてここまでやつてこられた  
のだと実感いたしました。

今後はそのような方々の二期待に応えられるようにならんばつていただきたいと思います。家具作りを始めてから仕事に追われる日々でしたが、30代を迎える日々と共に充実した日々を送つてまいります。

(平成18年大学院  
国際文化学研究科修了)

縁あって、3年間、隣県の広島から通い、昨春大学院博士課程第1期生として健康福祉学博士の学位を取得することができた。山口県立大学に通つた3年間は、これまでの学生生活とは異なる貴重な時間となつた。夜間開講される授業を受けるために、昼間の勤務を終え、行かねばならぬ学舎は片道100マイル。出発前は、いつも気が遠くなる思いだつた。それでもこの距離を3年間通えたのは、山口県立大学の諸先生方や1期生の皆様のお陰だと感謝している。また、3年間熱心にご指導

の3年間で多くの宝物を掘り出すことができた。それは、往復200マイルという距離の効果かもしれないと思うと、親しみのわく距離に思えてくる。

最後に、加筆修正した学位論文を、「サポート・ネットワークの臨床論」（世界思想社）として公開することになったことを、往復200マイルの学舎への感謝の

がそのライフスタイルにおいて遭遇する健康や家庭の悩み・不安に対して相談に応じ、みなさんのQOL（生活の質）を高めるための支援を目的としています。

相談・指導には、山口県立大学の教員（医師、助産師、保健師、看護師、臨床心理士、社会福祉士、精神保健福祉士、管理栄養士、その他）が、それぞれの専門性を活かして担当させていただきます。

相談内容についての秘密は厳守いたします。

## 心とからだの 相談室オープン！

当相談室は、地域のみなさんがそのライフスタイルにおいて遭遇する健康や家庭の悩み・不安に対して相談に応じ、みんなのQOL（生活の質）を高めるため

の支援を目的としています。

学の教員（図師、助産師、保健師）、看護師、臨床心理士、社会福祉士、精神保健福祉士、管理栄養士、その他）が、それぞれの専門性を活かして担当させていただきます。

相談内容についての秘密は厳守いたします。

〈利用案内〉

相談場所  
地域交流スペースYucca(ユッカ)

(T753-0011)

相談料 1回40分、3,000円  
山口市宮野下2689-3

（同時に6人までのグループ面接）

完全予約制（原則として1週間も同額）

前までに電話予約

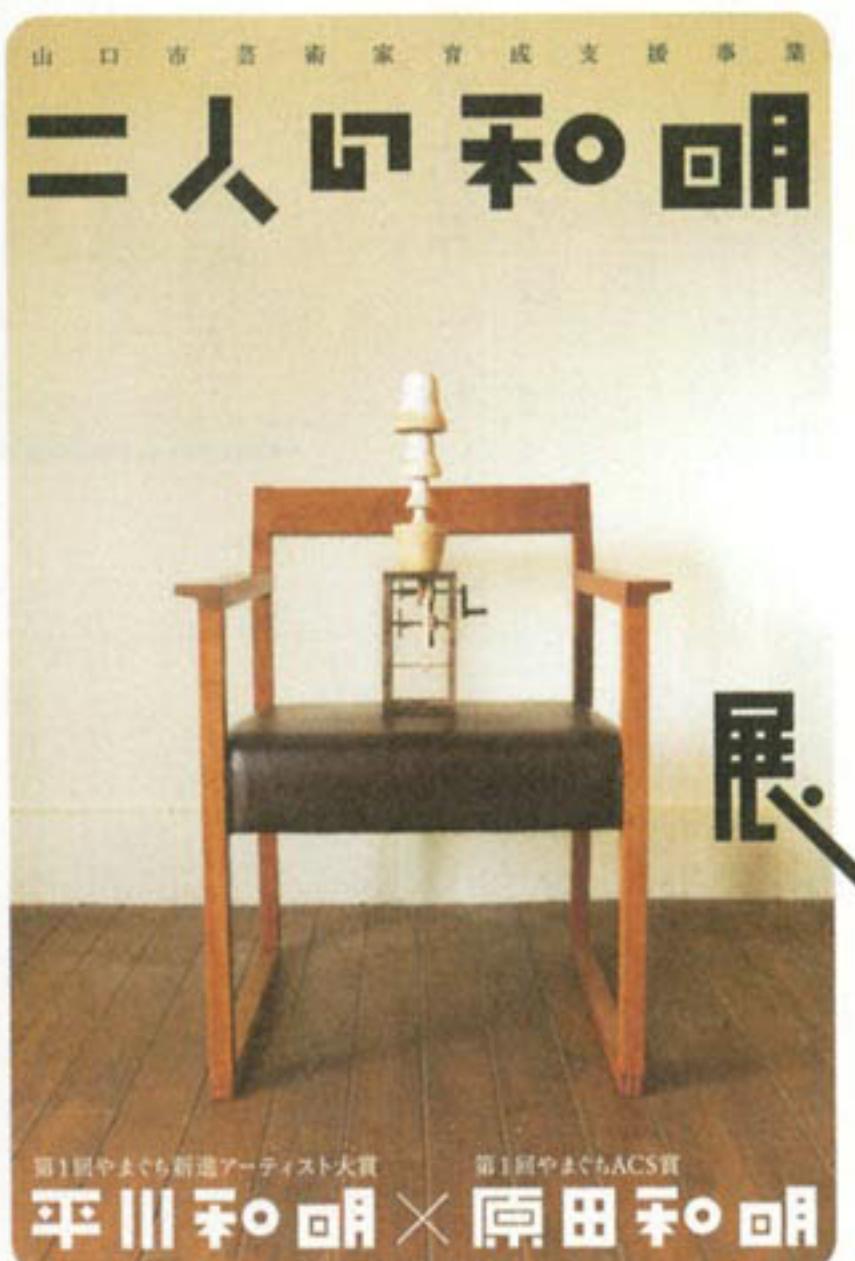
### 〈お問い合わせ先〉

## 地域交流スペースYucca(ユカ)

二テレネタ 沢野まで  
電話 083-9334-8011

相談員・最新情報は大学ホームページにて

<http://www.yamaguchi-pu.ac.jp>



## 第14回支部長・理事 合同会議報告

に理解と関心が深まり、併せて  
同窓・同期としての絆も深まつ  
ていること。

この仕組みを考えられた先輩  
の智恵に、改めて敬意を表した

桜圃会総会に先立つ平成21年5  
月23日(土)午後4時から約1時間、  
ホテル「ユータナカ」において第14回  
桜圃会支部長・理事合同会議が開  
催されました。

東は関東支部から西は大分、佐  
賀支部まで、県内外18支部の支部  
長さん等を迎えたのは、吉村会長  
を始め理事20名です。

吉村会長の挨拶の後、相本理事  
の司会進行により、各支部から現  
状報告と情報提供が行われました。  
高齢化がすすむ中、役員を引き  
継げない、若い人の参加がなく支  
部が活性化しない、など共通の懸  
念が報告されました。

中でも一番の懸念は、支部長など  
の役員を引き継ぐことの難しさで  
した。

これに対し、山口支部から65歳  
の時に、同期の者で役員を引き受け、順次引き継いでいく仕組みが  
紹介されました。



謹んでご冥福を  
お祈り申し上げます。

### ◆教職員

旧職	磯崎マサコ	H20.8.12
現教	中川洋子	H21.8.15

### ◆会員

S23被服	杉井千佐子	H17.7.23
S44保育	松本信子	H18.3
S20家事	国松エミ子	H19.12.25
S20家事	家成美栄子	H20.3.29
S25国語	杉岡寿美子	H20.4.16
S20家事	三須愛子	H20.5.30
S23被服	富永政子	H20.7.15
S29食物	野正淳子	H20.8
S20裁縫	前田栄子	H20.10.8
S24生活	眞邊多重子	H21.2.21
S55食物	伊東公仁子	H21.5
S58児文	吉永麻里子	H21.6.8
S19家事	藤井恵美子	H21.6
S19家事	有富文子	H21.8
S28国文	河村郁江	H21.9.5
S35保育	白石正子	H22.1.10
S28育児	杉町祐子	
S39被服	西村千恵子	
S44国文	長井小夜子	

## 洋子さんへ

(故中川洋子教授を偲んで)

重岡美千代

らしいけれど、「早すぎるよ」とみんな言いたいと思う。

「先生」と呼ばれることを嫌つた洋子さん。だけど、誰よりも「師」だったと思う。研究室で食べた手作りのおでん。ある後輩は、洋子さんにあさりの味噌汁の美味しい作り方を教わったと

言っていた。在学中よりも卒業

してからの想い出が多い。海外

の歩き方も教わった。

「その土地の、一番底辺

の人と同じ物を食べた

いの」という価値観。

東南アジアでは屋台を

食べ歩き、どこに行つて

も地元のスーパーや市

場に顔を出す。洋子さ

んの旅スタイルが好き

だった。

(平成元年児文卒)



故 中川洋子先生

児童文化学科という縁があつた

から山口に来たのだと言い、学科

無き後、「卒業生の集い」という力

タチを生んでくれた洋子さん。ま

だまだたくさん、話したかった。だ

た逢いましょう。—ありがとうございました。



講演をされる江里健輔学長



## 50周年を迎えて

関東支部長 南野 隆子

総会の事を記録した略年譜を見ますと、第二回総会は、昭和33年3月30日、於松屋ホテル、出席人数36名、会費600円、写真代110円、出席された先生は松本賢治先生、本校より太田静一・西田ミツエ先生と書かれています。会費に対して写真代が高い事に時代を感じます。私が5歳の時の事です。その後50年という時が流れ、支部は多くの会員の熱意と努力に支えられました。今日を迎えた。現在会員数は約850名となっています。

さて、記念すべき50回目の総会

は、平成21年6月13日、(私)会館、出席人数87名、会費800円、講師は江里健輔学長先生、福田百合子先生でした。盛大な拍手で迎えられたお二人。学長先生は「生きている僕倖」いう演題で、身近な健康問題をユーモアを交えてお話しされ、

福田先生は「宮野・桜畠60年」という演題で、身辺の様々な事柄や、山口県ゆかりの人物、芸能について若々しいお声で話されました。

今年も実りある総会となりますように。略年譜に刻みます。

(昭和48年食物卒)

桜園会館満席の山口支部  
45周年記念事業!!

45周年記念事業実行委員会

委員長 中川 忍子

山口支部の役員は、早川寿江

様(国文昭28)方の御苦労で、65才になった年に任期1年を担当し、64才の副会長が加わる事で、次に続けるシステムになつております。

私が担当しました年の総会で記念になる行事をしてはどうかと提案があり、先輩支部長さんとの話し合いで45周年記念事業をすることになりました。



中央が加藤美枝さん

## 桜園会支部リスト (平成21年12月現在)

支部名	支 部 長 名	支部会員数(名)
山 口	伊藤 達子(被服39)	1,384
宇 部	嶋本 慶子(食物41)	816
小野田	西田 今日子(児文54)	169
下 関	松永 美代子(被服44)	487
徳 山	磯辺 治代(保育43)	354
下 松	清木 秩子(国文33)	316
萩	藤井 郁子(国文47)	150
防 府	中村 真理子(国文56)	454
長 門	中澤 允子(被服36)	128
柳 井	植野 悅子(被服38)	235
岩 国	片岡 郁子(国文41)	225
北 九 州	高津 優子(食物39)	451
広 島	松原 正美(国文33)	587
近 譲	赤木 絹子(食物45)	673
東 関	南野 隆子(食物48)	873
福 岡	宗野 淑(被服39)	452
四 国	村松 幸子(食物35)	288
東 海	蔵重 文子(国文38)	144
佐 賀	久保由美子(食物49)	124
大 分	栗屋 文世(国文44)	264

## 編集後記

前号の会報で、卒業生でもある乃木章子先生から検討中であることが報告されていた「卒業生の声を聞くボスト」が、いよいよオープンとのお知らせをいただきました。大学で受けた教育内容について、卒業後だからこそ気づいたこと、伝えられることがあるはずです。母校の教育の充実・発展のため、そして未来の同窓生たちのため、みなさまの「声」を届けてください。

(大前)